

## 日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2020年2月〔往航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

\* 文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

### I. 往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

- (1) 2020年2月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比5ヶ月連続の減少となる8.6%減の120.3万TEU。120万TEU台は2019年3月以来のこと。1-2月の累計では、前年同期比5.3%減の275.3万TEU。
- (2) 国別では、韓国（9.0%増）、台湾（3.6%増）、ベトナム（28.7%増）、インド（20.4%増）などが増加となったものの、日本（6.2%減）、中国（22.2%減）などは減少。地域別では、ASEAN（23.6%増）、南アジア（18.1%増）ともに増加。
- (3) 品目別では、「家具及び家財道具」（寄与度1.4%減）、「自動車部品」（同1.3%減）、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（同1.1%減）、「一般電気機器」（同0.7%減）などが減少の要因。
- (4) 日本は、4ヶ月連続の減少となる6.2%減の5.1万TEU。品目別の1位（2018年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（35.6%減）が5ヶ月連続で大幅な減少、2位の「車両機器及び部品」（20.5%減）が5ヶ月連続の減少、4位の「建設機械」（16.1%減）が4ヶ月連続の減少。
- (5) 中国は、10ヶ月連続の減少となる22.2%減の63.3万TEU。1位の「家具及び家財道具」（32.1%減）が14ヶ月連続の減少、2位の「繊維及びその製品」（16.1%減）及び3位の「一般電気機器」（18.5%減）が2ヶ月ぶりの減少、4位の「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（26.0%減）が6ヶ月連続の減少。香港は14ヶ月連続の減少となる35.6%減の1.4万TEU。
- (6) 韓国は、3ヶ月ぶりの増加となる9.0%増の6.7万TEU。2位の「一般電気機器」（29.9%増）及び6位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（23.5%増）が5ヶ月連続の増加、4位の「車両機器及び部品」（0.5%増）が6ヶ月ぶりの増加。
- (7) 台湾は、3ヶ月連続の増加となる3.6%増の5.1万TEU。3位の「家具及び家財道具」（40.0%増）が18ヶ月連続の増加、6位の「タイヤ及びチューブ」（23.7%増）が12ヶ月連続の増加。
- (8) ASEANは、全体では46ヶ月連続の増加となる23.6%増の29.5万TEU。ベトナムは47ヶ月連続の増加となる28.7%増の14.2万TEU。ベトナム積みで1位の「家具及び家財道具」（30.7%増）が前年比12ヶ月連続で30%を超える増加、2位の「繊維及びその製品」（18.2%増）が23ヶ月連続の増加、3位の「履物及び附属品」（14.9%増）が10ヶ月連続の増加。
- (9) 南アジアは、全体では20ヶ月連続の増加となる18.1%増の9.2万TEU。インドは2ヶ月連続の増加となる20.4%増の6.9万TEU。インド積みで1位の「繊維及びそ

の製品」(26.9%増)及び2位の「家具及び家財道具」(33.9%増)が20ヶ月連続の増加。

表-1 2020年2月:積国・地域別荷動き

国・地域	往 航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-2月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
<b>18ヶ国・地域 合計</b>	<b>1,203,039</b>	<b>▲8.6</b>	<b>100.0</b>	<b>2,753,203</b>	<b>▲5.3</b>
日 本	50,832	▲6.2	4.2	100,110	▲7.3
韓 国	66,853	9.0	5.6	145,550	1.8
台 湾	51,261	3.6	4.3	118,303	3.8
<b>中国+香港 計</b>	<b>646,852</b>	<b>▲22.5</b>	<b>53.8</b>	<b>1,558,614</b>	<b>▲16.0</b>
中 国	632,778	▲22.2	52.6	1,526,356	▲15.5
香 港	14,074	▲35.6	1.2	32,258	▲32.0
マカオ	13	32.8	0.0	41	60.9
<b>ASEAN 計</b>	<b>295,418</b>	<b>23.6</b>	<b>24.6</b>	<b>640,395</b>	<b>24.2</b>
シンガポール	11,481	53.6	1.0	22,887	44.6
フィリピン	9,788	6.0	0.8	20,096	▲2.7
マレーシア	35,186	29.8	2.9	73,478	31.2
インドネシア	32,055	1.5	2.7	71,533	5.4
タ イ	52,053	12.7	4.3	111,534	11.7
ベトナム	141,526	28.7	11.8	313,662	31.1
カンボジア	11,086	69.4	0.9	22,639	57.6
ミャンマー	2,243	140.6	0.2	4,564	142.3
<b>南アジア 計</b>	<b>91,810</b>	<b>18.1</b>	<b>7.6</b>	<b>190,190</b>	<b>10.9</b>
スリランカ	5,124	1.2	0.4	11,014	0.2
バングラデシュ	9,022	20.4	0.7	19,894	25.4
パキスタン	9,057	10.6	0.8	19,230	5.7
インド	68,608	20.4	5.7	140,052	10.8

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

## II. 品目別荷動き

(1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連3品目(「家具及び家財道具」、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」、「建築用具及びその関連品」)の合計荷動き量は、5ヶ月連続の減少となる11.8%減の28.0万TEU(シェア23.2%)。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は2ヶ月ぶりの減少となる8.7%減の19.6万TEU、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」は5ヶ月連続の減少となる21.2%減の5.2万TEU、「建築用具及びその関連品」は7ヶ月連続の減少となる13.3%減の3.2万TEU。

(2) 「繊維及びその製品」は4ヶ月ぶりの減少となる2.6%減の14.0万TEU。

(3) 「一般電気機器」は2ヶ月ぶりの減少となる9.7%減の8.5万TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は7ヶ月連続の減少となる16.8%減の3.0万TEU。

(4) 「自動車部品」は7ヶ月連続の減少となる34.3%減の3.3万TEU、「タイヤ及びチューブ」は4ヶ月ぶりの増加となる3.0%増の3.9万TEU。

表-2 往航:2020年2月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-2月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	196,283	▲8.7	▲1.4	▲3.2	16.3
2. 繊維及びその製品	140,250	▲2.6	▲0.3	2.6	11.7
3. 一般電気機器	85,496	▲9.7	▲0.7	▲0.1	7.1
4. 床材・ブラインド等のプラスチック製品	51,615	▲21.2	▲1.1	▲15.8	4.3
5. 履物及び附属品	39,662	▲10.8	▲0.4	▲5.3	3.3
6. タイヤ及びチューブ	39,449	3.0	0.1	0.8	3.3
7. 自動車部品	32,973	▲34.3	▲1.3	▲35.3	2.7
8. 建築用具及び関連品	31,746	▲13.3	▲0.4	▲9.2	2.6
9. テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	30,484	▲16.8	▲0.5	▲13.3	2.5
10. ガラス及びその製品	28,712	35.5	0.6	43.8	2.4

### Ⅲ. コンテナ運賃の動向

表ー3 往航:コンテナ運賃の推移(2018年/2019年対比)

(1)EASTBOUND				(Drewry:Container Freight Rate Insight)									(単位 : US\$/20ft, US\$/40ft)			2020年1月7日		
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230	1,200	1,410	1,810	1,930	2,010	2,100	1,720			
			40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510	1,540	1,770	2,330	2,510	2,590	2,720	2,190			
		2019年	20ft	1,740	1,720	1,400	1,520	1,350	1,360	1,410	1,350	1,580	1,290	1,400	1,370			
			40ft	2,240	2,180	1,750	1,910	1,730	1,720	1,810	1,760	1,950	1,650	1,740	1,730			
		前年比	20ft	37.0%	26.5%	32.1%	42.1%	9.8%	13.3%	0.0%	-25.4%	-18.1%	-35.8%	-33.3%	-20.3%			
			40ft	37.4%	25.3%	24.1%	33.6%	14.6%	11.7%	2.3%	-24.5%	-22.3%	-36.3%	-36.0%	-21.0%			
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2018年	20ft	2,300	2,350	1,860	1,870	2,030	2,000	2,280	2,750	2,910	2,800	3,070	2,580			
			40ft	2,910	3,090	2,420	2,400	2,510	2,530	2,880	3,480	3,720	3,540	3,840	3,320			
		2019年	20ft	2,630	2,540	2,270	2,380	2,330	2,250	2,330	2,340	2,390	2,050	2,200	2,220			
			40ft	3,330	3,250	2,850	3,000	2,920	2,800	2,930	2,920	2,970	2,640	2,750	2,780			
		前年比	20ft	14.3%	8.1%	22.0%	27.3%	14.8%	12.5%	2.2%	-14.9%	-17.9%	-26.8%	-28.3%	-14.0%			
			40ft	14.4%	5.2%	17.8%	25.0%	16.3%	10.7%	1.7%	-16.1%	-20.2%	-25.4%	-28.4%	-16.3%			
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	1,500	1,550	1,540	1,690	1,880	1,790	2,100	1,680	1,850			
			40ft	1,890	1,960	1,830	1,830	1,880	1,880	2,110	2,360	2,140	2,620	1,970	2,270			
		2019年	20ft	1,800	1,840	1,560	1,850	1,420	1,690	1,740	1,640	1,630	1,660	1,630	1,180			
			40ft	2,110	2,270	1,920	2,230	1,730	2,030	2,080	1,930	1,920	1,940	1,910	1,430			
		前年比	20ft	16.1%	15.0%	4.0%	23.3%	-8.4%	9.7%	3.0%	-12.8%	-8.9%	-21.0%	-3.0%	-36.2%			
			40ft	11.6%	15.8%	4.9%	21.9%	-8.0%	8.0%	-1.4%	-18.2%	-10.3%	-26.0%	-3.0%	-37.0%			
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	2,560	2,400	2,420	2,570	2,880	2,760	2,880	2,550	2,790			
			40ft	3,380	3,300	3,060	3,200	2,900	2,920	3,140	3,550	3,210	3,520	2,930	3,400			
		2019年	20ft	2,800	2,760	2,470	2,820	2,810	2,670	2,700	2,650	2,630	2,670	2,660	1,700			
			40ft	3,220	3,360	2,980	3,400	3,300	3,310	3,330	3,030	3,020	3,050	3,050	2,030			
		前年比	20ft	0.7%	0.4%	-2.8%	10.2%	17.1%	10.3%	5.1%	-8.0%	-4.7%	-7.3%	4.3%	-39.1%			
			40ft	-4.7%	1.8%	-2.6%	6.3%	13.8%	13.4%	6.1%	-14.6%	-5.9%	-13.4%	4.1%	-40.3%			

表ー4 往航:コンテナ運賃の推移(2019年/2020年対比)

(1)EASTBOUND				(Drewry:Container Freight Rate Insight)									(単位 : US\$/20ft, US\$/40ft)			2020年3月4日		
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2019年	20ft	1,740	1,720	1,400	1,520	1,350	1,360	1,410	1,350	1,580	1,290	1,400	1,370			
			40ft	2,240	2,180	1,750	1,910	1,730	1,720	1,810	1,760	1,950	1,650	1,740	1,730			
		2020年	20ft	1,390	1,380	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
			40ft	1,800	1,730	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		前年比	20ft	-20.1%	-19.8%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%			
			40ft	-19.6%	-20.6%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%			
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2019年	20ft	2,630	2,540	2,270	2,380	2,330	2,250	2,330	2,340	2,390	2,050	2,200	2,220			
			40ft	3,330	3,250	2,850	3,000	2,920	2,800	2,930	2,920	2,970	2,640	2,750	2,780			
		2020年	20ft	2,420	2,230	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
			40ft	3,020	2,850	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		前年比	20ft	-8.0%	-12.2%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%			
			40ft	-9.3%	-12.3%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%			
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2019年	20ft	1,800	1,840	1,560	1,850	1,420	1,690	1,740	1,640	1,630	1,660	1,630	1,180			
			40ft	2,110	2,270	1,920	2,230	1,730	2,030	2,080	1,930	1,920	1,940	1,910	1,430			
		2020年	20ft	1,330	1,520	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
			40ft	1,510	1,760	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		前年比	20ft	-26.1%	-17.4%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%			
			40ft	-28.4%	-22.5%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%			
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2019年	20ft	2,800	2,760	2,470	2,820	2,810	2,670	2,700	2,650	2,630	2,670	2,660	1,700			
			40ft	3,220	3,360	2,980	3,400	3,300	3,310	3,330	3,030	3,020	3,050	3,050	2,030			
		2020年	20ft	2,270	2,060	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
			40ft	2,540	2,920	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		前年比	20ft	-18.9%	-25.4%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%			
			40ft	-21.1%	-13.1%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%			

表-5 米国内地域別(西岸/東岸/ガルフ)荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9月	62.2	32.9	4.9	61.9	32.5	5.6
10月	60.3	34.9	4.8	55.6	37.9	6.5
11月	62.4	33.4	4.1	58.4	36.0	5.6
12月	62.2	33.0	4.8	55.8	37.9	6.3
2019年1月	59.7	35.9	4.4	57.5	36.1	6.5
2月	59.5	36.0	4.4	56.4	37.7	5.9
3月	56.1	38.1	5.9	56.7	37.0	6.3
4月	60.2	34.6	5.2	55.9	37.5	6.6
5月	60.3	35.2	4.4	55.6	37.2	7.3
6月	60.7	34.1	5.2	56.3	36.7	7.0
7月	61.7	33.5	4.7	54.9	37.6	7.5
8月	57.9	36.8	5.3	56.9	35.3	7.8
9月	59.5	35.3	5.2	58.2	34.3	7.5
10月	57.7	36.3	6.0	53.8	37.8	8.4
11月	60.6	34.8	4.6	56.8	35.7	7.5
12月	58.9	35.3	5.8	56.0	35.1	8.9
2020年1月	58.7	35.9	5.5			
2月	52.1	42.0	5.9			

## 日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2020年2月〔復航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

\* 文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

### I. 復航（米国→アジア 18ヶ国・地域）の荷動き

- (1) 2020年2月の米国からアジア（18ヶ国・地域）へのコンテナ荷動き量は、前年比3ヶ月連続の増加となる6.4%増の54.7万TEU。1-2月累計では、前年同期比3.1%増の110.4万TEU。\* 前回発表時の1月は前年比0.1%減であったが、同0.1%増に修正となった。
- (2) 国別で見ると、韓国（0.7%減）などが減少となったものの、日本（0.7%増）、中国（3.3%増）、台湾（3.7%増）、ベトナム（31.3%増）、インド（0.3%増）などが増加。地域別では、ASEAN（18.5%増）、南アジア（11.2%増）ともに増加。
- (3) 品目別では、「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（寄与度3.2%増）、「採油用の種及び油脂」（同2.7%増）、「ニッケル、銅等の非鉄金属鉱」（同2.6%増）、「動物用飼料」（同2.3%増）などが増加に寄与。
- (4) 日本は2ヶ月ぶりの増加となる0.7%増の6.0万TEU。品目別の1位（2018年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「動物用飼料」（11.2%増）及び2位の「肉及びその調製品」（10.3%増）が2ヶ月ぶりの増加、4位の「野菜及び種苗類」（3.8%増）が8ヶ月ぶりの増加。
- (5) 中国は3ヶ月連続の増加となる3.3%増の13.3万TEU。1位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（31.8%増）が2ヶ月連続の増加、3位の「家具及び家財道具」（67.4%増）が9ヶ月連続の増加、4位の「動物用飼料」（129.9%増）が8ヶ月連続の増加。香港は7ヶ月連続の減少となる25.4%減の1.5万TEU。
- (6) 韓国は2ヶ月連続の減少となる0.7%減の6.1万TEU。4位の「金属スクラップ」（93.1%減）が9ヶ月連続の減少、6位の「野菜及び種苗類」（10.7%減）が10ヶ月連続の減少。
- (7) 台湾は4ヶ月連続の増加となる3.7%増の5.0万TEU。1位の「採油用の種及び油脂」（148.8%増）が7ヶ月連続で大幅な増加、2位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（40.7%増）が4ヶ月連続の増加、4位の「穀物及びその調整品」（29.4%増）が2ヶ月ぶりの増加。
- (8) ASEANは全体では29ヶ月連続の増加となる18.5%増の15.9万TEU。  
ベトナムは5ヶ月連続の増加となる31.3%増の4.2万TEU。ベトナム揚げで2位の「繊維及びその製品」（43.2%増）及び4位の「木材及びその製品」（11.9%増）が3ヶ月連続の増加、3位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（79.4%増）が7ヶ月連続で大幅な増加。

- (9) 南アジアは全体では4ヶ月連続の増加となる11.2%増の6.9万TEU。  
 インドは4ヶ月連続の増加となる0.3%増の4.4万TEU。インド揚げで1位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」(8.2%増)が4ヶ月連続の増加、3位の「果物類」(21.9%増)が5ヶ月連続の増加、4位の「家具及び家財道具」(13.1%増)が2ヶ月連続の増加。
- (10) 2020年2月のインバランス（往航を100とした場合の復航の比率）は、前月比9.3ポイント改善の45.2%。インバランスを国・地域別に捉えると日本118.1%、韓国92.2%、台湾97.4%、ASEAN53.3%、南アジア75.7%。インバランスに最も影響を与える中国+香港は22.7%。

表-1 2020年2月：揚国・地域別荷動き

国・地域	復航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-2月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	547,128	6.4	100.0	1,104,190	3.1
日本	60,107	0.7	11.0	118,920	▲8.7
韓国	61,066	▲0.7	11.2	120,874	▲4.4
台湾	50,053	3.7	9.1	108,154	7.5
中国+香港 計	147,835	▲0.5	27.0	305,978	▲0.6
中国	133,133	3.3	24.3	276,878	3.6
香港	14,702	▲25.4	2.7	29,100	▲27.9
マカオ	31	▲15.1	0.0	75	13.2
ASEAN 計	158,971	18.5	29.1	313,542	9.1
シンガポール	19,100	38.7	3.5	35,365	23.5
フィリピン	11,216	9.6	2.1	22,903	5.5
マレーシア	28,493	35.3	5.2	56,077	33.2
インドネシア	29,576	▲16.5	5.4	55,365	▲28.7
タイ	22,144	28.2	4.0	43,534	11.4
ベトナム	42,421	31.3	7.8	86,511	23.2
カンボジア	1,335	▲42.5	0.2	2,581	▲42.8
ミャンマー	4,685	157.0	0.9	11,208	208.1
南アジア 計	69,065	11.2	12.6	136,646	15.4
スリランカ	1,840	▲15.9	0.3	4,684	3.7
バングラデシュ	4,493	49.9	0.8	8,196	33.9
パキスタン	19,096	42.5	3.5	34,494	38.9
インド	43,636	0.3	8.0	89,272	7.6

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、翌月以降に若干の修正が加わる場合がある。

## II. 復航の品目別荷動き

- (1) 復航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」は2ヶ月連続の増加となる22.7%増の8.9万TEU。
- (2) 「動物用飼料」は6ヶ月連続の増加となる30.8%増の5.0万TEU。
- (3) 「繊維及びその製品」は9ヶ月連続の増加となる22.8%増の4.4万TEU。
- (4) 「採油用の種及び油脂」は6ヶ月連続の増加となる64.5%増の3.6万TEU。
- (5) 「家具及び家財道具」は9ヶ月連続の増加となる42.5%増の3.1万TEU。

表-2 復航:2020年2月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-2月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 紙、板紙類及びその製品(古紙含む)	88,946	22.7	3.2	21.0	16.3
2. 動物用飼料	49,690	30.8	2.3	18.6	9.1
3. 繊維及びその製品	44,273	22.8	1.6	14.9	8.1
4. 採油用の種及び油脂	35,720	64.5	2.7	51.0	6.5
5. 家具及び家財道具	30,950	42.5	1.8	41.7	5.7
6. レジン等の合成樹脂	27,434	22.2	1.0	20.2	5.0
7. 肉及びその調整品	24,100	35.7	1.2	32.0	4.4
8. ニッケル、銅等の非鉄金属鉱	23,514	130.9	2.6	111.8	4.3
9. 木材及びその製品	22,337	▲31.6	▲2.0	▲29.9	4.1
10. ピッチ、タール等の鉱物性残留物	16,488	36.5	0.9	53.6	3.0



### Ⅲ. コンテナ運賃の動向

表-3 復航:コンテナ運賃の推移(2018年/2019年対比)

(2)WESTBOUND (Drewry:Container Freight Rate Insight) (単位: US\$/20ft, US\$/40ft) 2020年1月7日

積地	向け地		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2018年	20ft	640	640	630	620	660	690	750	640	640	700	710	710
		40ft	770	770	740	740	800	830	840	750	760	820	820	820	
		2019年	20ft	730	710	700	700	690	690	690	680	730	710	710	750
		40ft	840	810	790	800	790	800	790	810	780	810	770	780	820
		前年比	20ft	14.1%	10.9%	11.1%	12.9%	4.5%	0.0%	-8.0%	6.3%	14.1%	1.4%	0.0%	5.6%
		40ft	9.1%	5.2%	6.8%	8.1%	-1.3%	-3.6%	-6.0%	4.0%	6.6%	-6.1%	-4.9%	0.0%	
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2018年	20ft	910	910	880	880	870	880	820	820	790	840	880	880
		40ft	1,100	1,100	1,070	1,060	1,040	1,130	1,070	1,070	1,030	970	1,010	1,020	
		2019年	20ft	880	780	770	770	870	860	870	870	910	870	780	810
		40ft	1,020	940	930	930	1,060	1,050	1,070	1,060	1,100	1,070	950	1,000	
		前年比	20ft	-3.3%	-14.3%	-12.5%	-12.5%	0.0%	-2.3%	6.1%	6.1%	15.2%	3.6%	-11.4%	-8.0%
		40ft	-7.3%	-14.5%	-13.1%	-12.3%	1.9%	-7.1%	0.0%	-0.9%	6.8%	10.3%	-5.9%	-2.0%	
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2018年	20ft	870	880	880	880	790	790	950	920	900	980	900	930
		40ft	1,080	1,090	1,090	1,110	1,000	1,010	1,230	1,200	1,190	1,270	1,160	1,210	
		2019年	20ft	960	960	1,000	1,170	980	960	960	930	900	880	890	940
		40ft	1,250	1,280	1,290	1,510	1,270	1,250	1,250	1,220	1,180	1,150	1,120	1,210	
		前年比	20ft	10.3%	9.1%	13.6%	33.0%	24.1%	21.5%	1.1%	1.1%	0.0%	-10.2%	-1.1%	1.1%
		40ft	15.7%	17.4%	18.3%	36.0%	27.0%	23.8%	1.6%	1.7%	-0.8%	-9.4%	-3.4%	0.0%	
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2018年	20ft	1,250	1,250	1,260	1,250	1,220	1,220	1,370	1,350	1,370	1,400	1,330	1,350
		40ft	1,480	1,480	1,490	1,620	1,500	1,490	1,760	1,780	1,790	1,820	1,690	1,730	
		2019年	20ft	1,390	1,360	1,370	1,320	1,340	1,490	1,370	1,350	1,210	1,210	1,180	1,250
		40ft	1,750	1,770	1,780	1,720	1,760	1,790	1,660	1,370	1,500	1,490	1,460	1,540	
		前年比	20ft	11.2%	8.8%	8.7%	5.6%	9.8%	22.1%	0.0%	0.0%	-11.7%	-13.6%	-11.3%	-7.4%
		40ft	18.2%	19.6%	19.5%	6.2%	17.3%	20.1%	-5.7%	-23.0%	-16.2%	-18.1%	-13.6%	-11.0%	

表-4 復航:コンテナ運賃の推移(2019年/2020年対比)

(2)WESTBOUND (Drewry:Container Freight Rate Insight) (単位: US\$/20ft, US\$/40ft) 2020年5月26日

積地	向け地		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2019年	20ft	730	710	700	700	690	690	690	680	730	710	710	750
		40ft	840	810	790	800	790	800	790	780	810	770	780	820	
		2020年	20ft	750	740	700	710	0	0	0	0	0	0	0	0
		40ft	840	830	800	830	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	2.7%	4.2%	0.0%	1.4%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
		40ft	0.0%	2.5%	1.3%	3.8%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2019年	20ft	880	780	770	770	870	860	870	870	910	870	780	810
		40ft	1,020	940	930	930	1,060	1,050	1,070	1,060	1,100	1,070	950	1,000	
		2020年	20ft	830	810	800	820	0	0	0	0	0	0	0	0
		40ft	1,030	1,000	990	1,010	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	-5.7%	3.8%	3.9%	6.5%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
		40ft	1.0%	6.4%	6.5%	8.6%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2019年	20ft	960	960	1,000	1,170	980	960	960	930	900	880	890	940
		40ft	1,250	1,280	1,290	1,510	1,270	1,250	1,250	1,220	1,180	1,150	1,120	1,210	
		2020年	20ft	910	940	900	870	0	0	0	0	0	0	0	0
		40ft	1,200	1,260	1,230	1,150	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	-5.2%	-2.1%	-10.0%	-25.6%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
		40ft	-4.0%	-1.6%	-4.7%	-23.8%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2019年	20ft	1,390	1,360	1,370	1,320	1,340	1,490	1,370	1,350	1,210	1,210	1,180	1,250
		40ft	1,750	1,770	1,780	1,720	1,760	1,790	1,660	1,370	1,500	1,490	1,460	1,540	
		2020年	20ft	1,290	1,410	1,340	1,280	0	0	0	0	0	0	0	0
		40ft	1,650	1,770	1,780	1,150	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	-7.2%	3.7%	-2.2%	-3.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
		40ft	-5.7%	0.0%	0.0%	-33.1%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	

#### IV. 米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9月	62.2	32.9	4.9	61.9	32.5	5.6
10月	60.3	34.9	4.8	55.6	37.9	6.5
11月	62.4	33.4	4.1	58.4	36.0	5.6
12月	62.2	33.0	4.8	55.8	37.9	6.3
2019年1月	59.7	35.9	4.4	57.5	36.1	6.5
2月	59.5	36.0	4.4	56.4	37.7	5.9
3月	56.1	38.1	5.9	56.7	37.0	6.3
4月	60.2	34.6	5.2	55.9	37.5	6.6
5月	60.3	35.2	4.4	55.6	37.2	7.3
6月	60.7	34.1	5.2	56.3	36.7	7.0
7月	61.7	33.5	4.7	54.9	37.6	7.5
8月	57.9	36.8	5.3	56.9	35.3	7.8
9月	59.5	35.3	5.2	58.2	34.3	7.5
10月	57.7	36.3	6.0	53.8	37.8	8.4
11月	60.6	34.8	4.6	56.8	35.7	7.5
12月	58.9	35.3	5.8	56.0	35.1	8.9
2020年1月	58.7	35.9	5.5	52.4	38.9	8.7
2月	52.1	42.0	5.9	55.5	36.4	8.2